

第47回

学生と教職員の交流の場

学内と社会を結ぶ交流の場

琉大21世紀フォーラム



日時 平成22年6月4日(金)
17:30~19:00

場所 琉球大学 法文学部新棟
2階215教室

話題 『学生のシティズンシップと大学教育におけるサービスラーニングの可能性』

発表者 興梠 寛 (昭和女子大学教授)

世界で注目されている“ボランティア活動”(Volunteering)の潜在的教育力の世界を探ってみたいと思います。

イギリスでは、伝統的な“コミュニティサービス教育”(Community Service Education)の成果をもとに、2001年からは必修科目“市民教育”(Citizenship Education)が登場し、大学教育に大きな影響をあたえています。

また、1980年代からアメリカ全土の大学に普及した教科教授法“コミュニティサービスラーニング”(Community Service Learning)は、全米約1,100大学の加盟による推進組織『キャンパス・コンパクト』(Campus Compact)などの組織化を生むとともに、世界の大学教育にも大きな影響をあたえています。いま、『経済協力開発機構』(OECD)によって提起される「知識基盤社会」(Knowledge-based Society)のなかで、日本の大学教育にも変化の波を起こしつつあります。

大学の新しい学びの可能性について、日・英・米の動きをお伝えできればと考えています。

発表者：プロフィール



興梠 寛 こうろき ひろし

昭和女子大学コミュニティサービスラーニングセンター長
日本ボランティア学習協会代表理事

◇宮崎県生まれ。

◇新聞記者の後、英国 Community Service Volunteers (CSV) 客員研究員を経て、ボランティア活動推進機関で国内・海外の調査研究をはじめ人材育成計画や国際協力事業等に携わる。

◇現在は、昭和女子大学人間社会学部教授・コミュニティサービスラーニングセンター長として教鞭を執る他、日本社会事業大学、信州大学、拓殖大学、岐阜県立看護大学、恵泉女学園大学、国際医療福祉大学の兼任講師を務める。専門分野は、ボランティア社会学、NPO マネージメント、国際協力と NGO、コミュニティサービスラーニング、生涯学習社会、青少年教育。

◇社会福祉法人世田谷ボランティア協会理事長、日本ボランティア学習協会代表理事、ALEC(アクティブラーニングコミュニティ)代表。文部科学省中央教育審議会他の各種委員として政策提言を行う。

◇近著に『希望へのカー地球市民社会の「ボランティア学」』(光生館)『英国の市民教育』(日本ボランティア学習協会)『まあるい地球のキーワード145』(春風社)他多数。

◇東京都在住。

主催：琉球大学生涯学習教育研究センター
問合先：琉球大学学術国際部地域連携推進課

TEL：098-895-8019

(事前に参加登録する必要はありません)



今後のフォーラム (予定)

第48回

講 師：西平 守孝(海洋博覧会記念公園管理財団参与、東北大学名誉教授)
 話 題：「未定」
 日 時：2010年6月25日(金) 16:30~18:00
 場 所：琉球大学法文学部新棟2階215教室

第49回

講 師：早川 忠光(NPO法人地域サポート若狭代表理事)/トリオ四季の風
 話 題：「みんなで歌おう、懐かしの歌、思い出の歌～日本・沖縄の唱歌、叙情歌～(仮)」
 日 時：2010年7月10日(土) 18:00~19:00
 場 所：地域国際学習センター1F広場(予定)

※なお、学外来訪者をお願いして臨時フォーラムを開催することがあります。

建物配置図



法文学部新棟2階

